

2020年度  
事業報告書

(一社) 全国圧入協会

## 1 - 1 . 圧入工法普及事業

- ( 1 ) 新型コロナウイルス感染防止の影響により滞った時期もあったが、国土交通省に対し大規模災害や自然災害の復旧ならびに国土強靱化対策として有効な圧入技術の普及および技術講習会の企画等を目的に説明を行った。

### 【国土交通省】

地方整備局	部署・事務所数	事務所名
東北地方整備局	2	福島河川国道事務所、仙台河川国道事務所
中国地方整備局	2	防災室、出雲河川事務所
四国地方整備局	1	肱川緊急治水対策河川事務所
九州地方整備局	10	企画部、技術管理課、港湾空港部、海洋環境技術課、八代河川国道事務所、八代復興出張所、熊本河川国道事務所、大分河川国道事務所、福岡国道事務所、筑後川河川事務所
合計	15	

- ( 2 ) 地方自治体（県）に対し大規模災害や自然災害の復旧ならびに国土強靱化対策として有効な圧入技術の普及および技術講習会の企画等を目的に説明を行った。

地方自治体	部署・事務所数	部署・事務所名
広島県	1	東部建設事務所
山口県	2	土木建築部、技術管理課
福岡県	2	県土整備部、企画課
佐賀県	2	県土整備部、建設・技術課
長崎県	2	土木部、建設企画課
大分県	2	土木建築部、建設政策課、
熊本県	4	土木部、土木技術管理課、農林水産部、技術管理課
宮崎県	3	県土整備部、砂防課、技術企画課
鹿児島県	1	土木部、監理課
合計	19	

- (3) 圧入工法技術講習会(CPD(継続教育)認定プログラム)は、従来の集合方式からオンライン方式に切り替え9回開催し、合計118名が受講した。なお、当技術講習会は幅広い建設関係者の受講を喚起するため、新たにCPDSの認定を追加し運営した。

講習会名称	実施日	受講者	備考
圧入工法技術講習会	10.16(金)	13名	有料
	10.21(水)	8名	
	10.29(木)	20名	
	11.13(金)	8名	
	11.20(金)	12名	
	11.27(金)	15名	
	12.8(火)	12名	
	12.10(木)	13名	
12.17(木)	17名		
9回	合計	118名	

- (4) 地方自治体が主催する技術講習会に講師を派遣し、圧入工法の講習を実施した。

名称	実施日	場所	受講者	主催者
技術講習会	10.9(金)	大阪市	61名	大阪府
技術講習会	12.2(水)	高知市	15名	高知土木事務所
2回		合計	76名	

- (5) 本部ならびに北海道・東北・関西・九州の各事務所において、会員や建設関係者に対する圧入工法の技術支援を行った。
- (6) 技術講習会と現場見学会は4月に沖縄県および愛知県、9月に愛媛県、10月に島根県で開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止等の理由で中止した。
- (7) 他団体が主催する「技術講習会」に講師を派遣した。

名称	実施日	場所	受講者	主催者
鋼管杭施工管理 技術者育成講習会	8.9(日)	千代田区	17名	全国基礎工事業 団体連合会
建設技術展 2020 近畿	10.21(水)	大阪市	30名	近畿建設協会,他
2回		合計	47名	

## 1-2. 社会貢献活動

- (1) 国土交通省中部地方整備局と締結した「災害時における中部地方整備局管内の災害応急対策業務の情報提供等支援に関する協定書(以下、協定書)」について、東海地区の会員が保有する杭圧入引抜機および技術者数等の情報を中部地方整備局へ提供した。

- (2) 会員と復旧支援協定に関する訓練を行い認識の共有を図った。
- (3) 国土交通省中国地方整備局に対して、協定書の情報を提供し意見交換を行った。

### 1-3. 圧入業界の発展に係る活動

- (1) 建設業界におけるさらなる地位向上を図るため、建設業許可業種区分「とび・土工工事業」からの独立・新設について、国土交通省 不動産・建設経済局長に対し関係団体とともに区分見直しに関する要望書を手渡した。
- (2) 上記(1)の活動への反映ならびに圧入業界の発展状況を把握するため、第2回会員企業調査を行った。
- (3) 2019年度に「ジャイロプレス工法®」による杭の支持性能が(公社)土木学会より技術評価・認定を受けたことについて、英語版の技術評価証・技術報告書が授与された。

### 1-4. 中国支部の活動

- (1) 現下の情勢における中国支部の活動について意見交換するため、同支部主催の幹事会を開催した。

#### 【中国支部の幹事会】

	会社名	役職等	氏名(敬称略)
支部長	(有)タケハラ工業	専務取締役	竹原 弾
幹事	(株)ウエヤマ	取締役	上山 剛
幹事	(株)出雲技研	工事部長	矢野 潤
幹事(事務局)	(有)タケハラ工業		樋口 卓則
事務局	エムシー中国建機(株)	常務取締役	赤名 知利

- (2) 中国支部と本部が協力し「中国支部会議」を開催した。同会議では、協会活動および今後の中国支部の活動について意見交換等を行った。

開催日	場所	会員数	参加者
12. 9(水)	広島市・オンライン併用	14社	16名

### 1-5. 表彰

- (1) 圧入工法のさらなる発展を目的とした第5回表彰は全69件の応募があった。
- (2) 表彰委員会による検討を経て受賞が下記のとおり決定した。なお、会員総会での表彰式ができなかったため、協会ウェブサイトでも受賞会員等を発表し表彰楯を贈呈した。

#### 〔感謝状〕

名称	氏名(敬称略)
感謝状	梶川 浩

## 〔感謝状〕

名 称	氏名（敬称略）
感謝状	大平 厚

## 〔圧入技術表彰〕（順不同、以下同じ）

名 称	会 員	工 事 名
現場部門賞	宮崎基礎建設(株)	那賀川（一期）農地防災事業 呑口調整水槽工事
	杉崎基礎(株)	H30北浦右岸釜谷地区特殊堤防整備工事
	吉田重機建設(株)	東海道線支線南2地区路盤新設工事
	土保産業(株)	鳴尾跨線橋拡幅工事
	(株)佐藤重機建設	H30鬼怒川左岸船玉伊佐山地区整備工事

## 〔圧入技術表彰〕

名 称	会 員
メンテナンス部門賞	(株)SR基工
	ジオテック(株)
	(株)梶川建設
	(株)大崎産業

## 〔圧入技術表彰〕

名 称	会 員	氏名（敬称略）
オペレーター部門賞	(株)SR基工	木村 雅一
	吉田重機建設(株)	藤田 昭二
	(株)出雲技研	吉野 祐司
	土保産業(株)	宮本 真一
	(株)技研施工	津野 容典

## 〔映像表彰〕

名 称	会 員	タイトル
写真部門賞	(株)SR基工	1日でも早く安全に
	渡辺アーステック(株)	『治水対策を加速せよ』
	杉崎基礎(株)	春
	土保産業(株)	『豊臣秀吉の大坂城石垣を見るために』
	北城重機興業(有)	北国の厳しい冬の中、N値 750への挑戦

名 称	会 員	タイトル
写真部門賞	(株)藤井組	橋と水に囲まれて
		宇治川の流りに逆らって
	吉田重機建設(株)	遠目にも大きい富士を背に、町の為に今日も打つ。
	(株)小澤土木	守る！この自然とその笑顔を守
	(株)藤本重機	24時間ご安心に！
	(株)梶川建設	施工近接住宅の騒音軽減
	(株)角藤	確かな技術が、新たな時代へ
		安心して下さい。地球を掴んでいますよ。
(株)佐藤重機建設	サンタからの贈り物!!	
磐城商事(株)	震災を教訓に更なる補強へ	

〔映像表彰〕

名 称	会 員	タイトル
動画部門賞	(株)SR基工	鼠が関 自然・文化との共生
	(株)角藤	街づくりを支える。 暮らしを支える。
	(株)佐藤重機建設	桁下でも大丈夫!! 世界に誇る日本の技術
	(株)技研施工	未来へ繋ぐ道、防災ネットワーク道路の構築

## 1-6. 国際圧入学会（IPA）との連携

- (1) 同学会が発刊した「圧入工法設計・施工指針2020年版」の販売普及を図った。  
同指針の販売数は203冊となっている。(2021年3月31日現在)
- (2) CPD認定「圧入工法設計・施工指針2020年版」技術講習会をIPAと共催で2回オンライン開催し、合計56名が受講した。

講習会名称	実施日	受講者	方式
「圧入工法設計・施工指針2020年版」技術講習会	2.12(金)	30名	有料
	2.19(金)	26名	
2回	合計	56名	

- (3) IPAが設置した「オペレーターの技量と経験が圧入工法の施工性に及ぼす影響に関する技術委員会（以下、TC-5）」に、協会の技術委員会が協力して進めることとした。
- (4) 11月に開催された「第12回 IPA圧入工学セミナー in TOKYO 2020」を後援した。
- (5) 同学会発行の情報誌「IPA Newsletter」ならびに「第二回 圧入工学に関する国際会議2021」の情報を発信した。

## 1-7. 調査

- (1) 会員の協力を得て「硬質地盤クリア工法施工実績調査(2019年度分)」を実施した。本調査は会員の事業活動に資するようレポートにまとめ会員サイトを通じてフィードバックした。
- (2) 会員の協力を得て「新型コロナウイルスの影響に関するアンケート」を実施した。アンケートの結果は、会員サイトを通じてフィードバックした。
- (3) 会員の協力を得て900ハット形鋼矢板圧入工法の標準歩掛化を目的とした発注案件情報の収集を実施した。  
なお、収集した発注案件情報は国土交通省へ提供した。

## 1-8. 積算

- (1) 「圧入標準積算資料 2020年度版」を改定した。(全11資料)
- (2) 「積算ソフト2020年度版」を改定し各方面に普及活動を行った。  
2021年3月31日までの延べ普及数は155である。

## 1-9. 広報事業

- (1) 協会広報誌は協会活動のほか、会員紹介、建設業界ニュース等これまで以上に有益な情報を掲載し、名称を「圧入ジャーナル」に刷新して3回発行した。
- (2) 建設技術展に圧入工法のブースを出展した。

名 称	実施日	場 所	来場者数	会 員
九州建設技術 フォーラム 2020	10.20(火) ～10.21(水)	福岡市	約 50 名	—
建設技術展 2020 近畿	10.21(水) ～10.22(木)	大阪市	約 300 名	土保産業(株) (株)技研施工

- (3) 協会ウェブサイトを通じて以下の情報を発信した。
  - ① ニュースリリース『土木学会が「ジャイロプレス工法®」による支持性能を認定』を掲載した。
  - ② 第5回表彰の受賞者一覧を掲載した。  
また、受賞者から届いた表彰式の写真を掲載した。
  - ③ 第5回写真部門賞の受賞写真をトップページに掲載した。
  - ④ 同 動画部門賞の受賞動画をトップページに掲載した。
  - ⑤ 2019年度の事業報告ならびに決算報告を公告した。
  - ⑥ 国土交通省に「とび・土工工事業」から「基礎ぐい工事業(仮称)」の新設に関する要望書を手渡した件についてトップページに掲載した。
  - ⑦ 会員の入会情報をトップページに掲載した。
  - ⑧ 「圧入標準積算資料 2020年度版」(全11資料)を掲載した。
  - ⑨ 「積算ソフト 2020年度版」について掲載した。
  - ⑩ 利用者登録システムを活用し、圧入標準積算資料の改定ならびに積算ソフトに関する情報を発信した。
  - ⑪ 「圧入ジャーナル」を掲載した。
  - ⑫ 圧入工法技術講習会の開催情報を掲載した。  
これに伴い、「オンライン講習会参加の手引き」を掲載した。

- ⑬杭圧入引抜機特別教育講習の開催情報を掲載した。
- ⑭「圧入工法設計・施工指針 2020年版」技術講習会の開催情報を掲載した。
- ⑮「ジャイロプレス工法®」による杭の支持性能について、土木学会より英語版の技術評価証・報告書が授与されたことを掲載した。
- (4) 会員サイトを通じて以下の情報を発信し会員へ周知を図った。
- ①「第二回圧入工学に関する国際会議 ICPE2021」の開催情報を掲載した。併せて、ICPE2021への施工事例に関する情報提供および投稿を会員へ依頼した。
- ②硬質地盤クリア工法の施工実績調査について依頼書を掲載した。
- ③会員総会に関する情報を掲載した。
- ④「2020年度総会報告」を掲載した。
- ⑤工事および業務における新型コロナウイルスの感染拡大防止に関する情報を掲載した。
- ⑥新型コロナウイルスの影響に関するアンケート結果を掲載した。
- ⑦建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインを掲載した。
- ⑧2020年度ブロック会議に関する情報を掲載した。
- ⑨北村精男名誉会長の著書『国土崩壊―「土堤原則」の大罪』書籍販売のお知らせを掲載した。
- ⑩国土交通省に「とび・土工工事業」から「基礎ぐい工事業（仮称）」の新設に関する要望書を手渡した件について掲載した。
- ⑪労働災害防止についてヒヤリハット事例の提供依頼を掲載した。
- ⑫「災害・ヒヤリハット事例集」に会員から提供を受けた事例を追加掲載した。
- ⑬第2回会員企業調査についての依頼を掲載した。
- ⑭新型コロナウイルス感染症対策の基本方針（抜粋）を掲載した。
- ⑮第6回表彰の公募案内を掲載した。
- ⑯技術委員会の委員公募について掲載した。
- ⑰硬質地盤クリア工法の施工実績調査結果レポートを掲載した。

2021年3月31日までの協会ウェブサイトの延べ閲覧件数は67,233件となった。

圧入工法普及および技術支援を目的に運営しているウェブ利用者システムの登録者（外部の建設関係者）は17,520名となった。  
（2021年3月31日現在）

## 1-10. 教育事業

- (1) 杭圧入引抜機特別教育講習（硬質地盤圧入機の内容を含む）は、従来の集合方式からオンライン方式に切り替え4回開催し、合計111名が受講した。

	開催日	受講者
1	10.17(土)～18(日)	26名
2	10.24(土)～25(日)	18名



	開催日	受講者
3	11. 7(土)～ 8(日)	3 1 名
4	11. 14(土)～15(日)	3 6 名
	合計	1 1 1 名

(2) 圧入施工技士試験は、当初7月の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

(3) (一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会等との連携により「鋼管杭施工管理士」育成講習会を共同で実施した。

検定試験は11月に実施され171名が受験し81名が合格した。

## 1-11. 委員会の運営

### 1-11-1. 技術委員会

(1) 技術委員会は以下のメンバーにて運営した。

〔技術委員会 委員一覧（順不同）〕

	会員	役職	氏名（敬称略）	
委員長	ジオテック(株)	代表取締役	藤田 学	
副委員長	(株)藤井組	代表取締役	森 致光	
	(株)出雲技研	代表取締役	板倉 広明	
委員	(株)佐藤重機建設	代表取締役	白崎 賢市	
	(有)タケハラ工業	専務取締役	竹原 弾	
	光洋重機建設(株)	専務取締役	光常 正義	
	(株)梶川建設	執行役員	鈴木 詳輝	
	(株)遠藤工業	専務取締役	遠藤 剛	
	渡辺アーステック(株)	管理部長	大倉 宏木	
	杉崎基礎(株)	札幌営業所長	久保 雅宏	
	(株)角藤	東京営業所所長	小原 達也	
	丸井重機建設(株)	基礎工事部課長	上明戸智行	
	(株)技研施工	実証施工課/ 東日本課長		宮脇 一彦
		工務課/九州 課長		北村 和広

(2) 2020年度活動方針に基づき活動した。

① 圧入工法歩掛の改定

② 国際圧入学会との連携

I P A TC-4「圧入された鋼矢板および回転切削圧入杭の鉛直支持力特性と施工管理方法に関する技術委員会」での協働

I P A ・ J P A の各事業における連携

③ 調査・研究の実施

硬質地盤クリア工法施工実績、I P A との連携に関する調査、積算および協会活動に関わる調査

④ 労働災害防止対策の啓蒙

(3) 活動方針の推進および国際圧入学会との連携を主な目的に、技術委員会を2回開催した。

(4) 歩掛の改定にあたり、また労働災害防止に関して技術委員会委員より意見聴取を行った。  
このほか、必要に応じて委員長・副委員長と協議し、活動方針の推進を図った。

## 1 - 11 - 2 . 企画委員会

(1) 企画委員会の委員は次のとおり。

〔企画委員会 委員一覧（順不同）〕

	会員	役職	氏名（敬称略）
委員長	(株)藤井組	代表取締役	森 致光
副委員長	(株)技研施工	取締役	坊 伸彦
委員	(株)出雲技研	代表取締役	板倉 広明
	ジオテック(株)	専務取締役	桃野 耕一
	(株)梶川建設	執行役員	鈴木 詳輝
	(株)角藤	部長	小松 則明
	土保産業(株)		樋口 和宏
委員 兼事務局	(一社)全国圧入協会	技術委員	戸田 健二
事務局	(株)藤井組	特任部長	畑中 正
	(一社)全国圧入協会	事務局長	川辺 守
	(一社)全国圧入協会		肱黒 香里

(2) 企画委員会は新型コロナウイルスの影響で下半期より活動を行った。

(3) 活動が制限される中、圧入施工技能者の登録基幹技能者および建設業許可業種区分の新設活動を推進テーマに掲げ、委員長・副委員長と課題について継続的に会議を開催した。

(4) 登録基幹技能者について圧入工と他職種との違いを資料化し、国土交通省と協議を行った。  
また、第2回会員企業調査について企画・実施した。

### 1 - 11 - 3 . 試験委員会

(1) 試験委員会の委員は次のとおり。

〔試験委員会 委員一覧 (順不同) 〕

	所属・役職	氏名 (敬称略)
委員長	国際圧入学会 専務理事 (前会長)	日下部 治
委員	(一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会 代表理事	岡原 美知夫
	(一社) 日本基礎建設協会 専務理事	本郷 康嗣
委員	金沢大学 教授	松本 樹典
	東京工業大学 准教授	竹村 次朗
	J Steel Group Pty Limited 取締役	木村 育正

(2) 人材育成を通じた社会・地域貢献に資するため、委員会の下部組織であるワーキンググループ会合を継続的に開催した。ワーキンググループは、登録圧入工基幹技能者講習向けの専門テキストの制作作業を進めた。

### 1 - 11 - 4 . 表彰委員会

(1) 表彰委員会は、以下のメンバーにて第5回表彰応募案件に対する審議、および第6回表彰に関する意見交換を目的に2回開催した。

〔表彰委員会 委員一覧 (順不同) 〕

	所属・役職	氏名 (敬称略)
委員長	(一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会 代表理事	岡原 美知夫
委員	(一社) 日本建設機械施工協会 業務執行理事	渡辺 和弘
	国際圧入学会 専務理事 (前会長)	日下部 治
	(株) 日刊建設通信新聞社 取締役企画局長	松本 龍二
	(一社) 全国圧入協会 顧問 (株) 技研製作所 代表取締役社長	森部 慎之助

## 1-12. ブロック会議の開催

(1) ブロック会議は、新型コロナウイルス感染防止のため集合方式からオンライン方式に切り替え開催した。

各地区における意見交換ならびに協会活動の共有を図った。

	開催日	ブロック名	会員数	参加者
1	9.30(水)	四国地区	8社	10名
2	10.8(木)	東海地区	11社	19名
3	10.22(木)	九州・沖縄地区	14社	16名
4	10.28(水)	近畿地区	9社	13名
5	11.5(木)	東北地区	14社	15名
6	11.12(木)	関東・北海道地区	15社	18名
7	12.11(金)	北信越地区	8社	10名
		合計	79社	101名

注1：各地区会員数は、支店・営業所を含む

注2：中国支部会議については、1-4.中国支部の活動を参照

## 1-13. 会員の現況

正会員は5社増加し2021年3月31日現在で210社となった。

会員の構成

	2020年3月31日現在	2021年3月31日現在	増減
正会員	205社	210社	+5
協賛会員	44社	50社	+6
賛助会員	4社5団体	4社5団体	±0
合計	253社5団体	264社5団体	+11
特別会員	8名	8名	±0

会員の異動

- ①入会会員 【正会員】 6社 (有)鋼基工、(株)埴重機工事、(株)仲野建設、  
 凌駕建設(株)、(株)ゴリテック、(株)河里  
 【協賛会員】 7社 花園特殊車輛(株)、三協建機(株)、桂建機(株)、  
 (株)徳丸建機サービス、(株)浜松建産、中外機工(株) (多賀城整備工場)、  
 タダノテクノ東日本仙台工場
- ②退会会員 【正会員】 (株)青木組 【協賛会員】 (株)九州建産

## 1-14. その他重要事項

### (1) 会員総会について

- ① 6月の会員総会は新型コロナウイルス感染防止のため最小規模の開催とし、正会員には委任状または意思表示書の協力を要請した。
- ② 議事「2019年度事業報告並びに決算報告承認の件」「2020年度事業計画並びに予算案承認の件」「2020・2021年度理事、監事選任の件」を決議した。

### (2) 理事会の開催

- ① 第1回理事会は4月に開催し「新型コロナウイルス感染予防に係る2020年度会員総会の対処方針について」「2020年度定時総会議案の件」「2019年度事業報告並びに決算報告承認の件」「2020年度事業計画並びに予算案承認の件」を決議した。併せて「2020・2021年度理事、監事候補の件」を報告した。
- ② 第2回理事会は6月に開催し「2020・2021年度 会長、副会長選任について」を決議した。
- ③ 第3回理事会は11月に開催し「2020年度上半期中間事業報告の件」を報告した。併せて、技術講習会等の協会活動についてオンライン開催を始めたことを報告した。  
2021年度会員総会の開催方法等について意見交換した。
- ④ 第4回理事会は12月に開催し「消費税の修正申告および納付について」を報告した。

### (3) 理事の辞任について

- ① 大平厚氏より理事・副会長の辞任届が提出され、受理したことを理事会に報告した。  
なお、同氏に対し感謝状を贈呈した。